

希望・懸命・感謝

◇平成30年度がスタートして3週間がたちました。先日の授業参観・学級懇談会・総会には、ご多用のなか多数ご参加いただき、ありがとうございました。家庭訪問も、今ちょうど半ば。学校でみせる子どもの顔と家庭で見せる子どもの顔の違いは高学年になるほど顕著です。本年度も各ご家庭と連絡をとりながら、お子様の健やかな成長を図りたいと思います。

◇「人間が生きる上で大切なものとは？」の質問に、ある大臣が「人間が生きていくうえで大事なことは、朝、希望を持って目覚め、昼は懸命に働き、夜は感謝と共に眠る、この気持ちだと思います」と答えたことが昨年、話題になったことがありました。その話を私が知った時に、子どもたちにとっては「働き」を「学び」に変えてみて、子どもたちがそんな毎日を過ごせていたら素晴らしいなあと思いました。

◇この「学び」は、算数や国語といった教科学習だけでなく、友達どう関わるとうまくいか、ルールを守るにはどうしたらいいかなど社会性の学び、病気にかからないようにするには、怪我や事故を防ぐにはという健康・安全の学びも重要です。



◇1年生がよく使う1階トイレのスリッパが、よく揃うようになってきたと感じます。6年生などに誘われて、朝から外で遊んでいた子どもたちが、自分たちで誘い合って外遊びができる子が増えてきました。これらだって立派な「学び」の成果でしょう。

◇先の言葉の「希望を持って目覚め」は、新学期・入学式から間もない子どもたちにとっては「期待感・緊張感」と置き換えてもいいかもしれません。新しい先生、新しい教室、新しい友達に対して確かに「希望を持って」いることでは、同時に若干の負荷がかかっている子もいることでは。

◇「懸命に学ぶ」ことができる当たり前に「感謝し眠り」、明日への「希望を持って」眠ることができれば、おそらく五月病等を心配しなくてよいことでは。

◇新しい環境がしっかりと肌になじむには、まだしばらくは時間が必要だと思います。そういった意味でも、特にこの時期こそ、学校と家庭がより連絡をとりあっていきたいと考えています。〈学校長〉

★貴志南小学校では、ホームページを設けています。<https://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。